

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券について

満期保有目的の債権…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 減価償却について

減価償却は、定額法によっている。

(3) 退職金引当金について

退職金の支給が想定される常勤職員がいないため、退職金の引当ては行っていない。

(4) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産および特定資産の増減及びその残高は次の通りである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	2,000,000	0	2,000,000	0
小計	2,000,000	0	2,000,000	0

3 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	19,002,803	2,840,916	16,161,887
什器備品	569,951	242,340	327,611
合計	19,572,754	3,083,256	16,489,498

4 過年度修正益について

正味財産増減計算書—経常外収益—過年度修正益2,800,000円は、前年度(平成25年度第1期)に属する不動産賃貸業収益である。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細に該当する負債はない。